

英語学科		教授	児嶋 一男	大学院の授業担当 有
<b>教育活動</b>				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	学生の授業参加意識の向上の取り組み	2001年4月～現在	授業に於いては学生がまずは興味を覚えて主体的に授業に取り組むようになることを考えて、テキストを読んだ後にすぐに舞台を観られるような現代演劇の台本を英語教材に使用している。さらに映像化された教材を編集して、興味を掻きたてている。	
2	学生の質問を聞き出す工夫		水曜日3限をオフィスアワーとし、また出講日の昼休みと放課後は自由に研究室を訪ねてよい環境を保っている。またメールアドレスを公開し、随時メールでの質問を受け付けている。	
3	学生による授業評価の活用		授業評価アンケートの主として自由記述欄を熟読し、改善に努めている。また各種HPの書き込み欄を読んで、不満な点の把握に努めている。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	英語版戯曲テスト抜粋版を教材として作成		現代英語で書かれた戯曲台本の抜粋版をB4版4～8枚程度に作り、それを読本教材としている。映像化された作品は、ビデオ等々を編集して、上記の場面に対応する簡略版を作ることがある。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項				
<b>学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)</b>				
年月日		活動内容		
1984年～現在		現代演劇研究会		
1985年～現在		全国アメリカ演劇研究者会議(2009年「日本アメリカ演劇学会」に改称)		
1989年4月～現在		日本ジェイムズ・ジョイス協会		
1985年4月～2000年3月		日本英文学会会員		
<b>その他</b>				